



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年2月13日

上場会社名	高田機工株式会社	上場取引所	東
コード番号	5923 URL https://www.takadakiko.com		
代表者	(役職名) 取締役社長	(氏名) 中村達郎	
問合せ先責任者 (役職名)	執行役員管理本部長 兼 IR室長	(氏名) 金谷崇史	TEL 06-6649-5100
配当支払開始予定日			
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,607	21.2	492		351		573	
2025年3月期第3四半期	13,469	6.5	196	76.9	333	65.7	316	53.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	99.16			
2025年3月期第3四半期	51.91			

(注)当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。
これに伴い、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 27,198	百万円 20,666	% 76.0
2025年3月期	31,129	20,481	65.8

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 20,666百万円 2025年3月期 20,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭 75.00	円 銭 25.00	円 銭 25.00	円 銭
2026年3月期		25.00			
2026年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。
株式分割を反映しない場合の2025年3月期期末の配当は75円、年間配当金は150円であります。
また、株式分割を反映しない場合の2026年3月期(予想)の年間配当金は150円であります。

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	19.3	390		290		630		109.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,712,758 株	2025年3月期	6,712,758 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	922,184 株	2025年3月期	947,838 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	5,780,334 株	2025年3月期3Q	6,099,891 株

(注)当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。

これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
3. 補足情報	7
売上及び受注の状況	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、企業業績の堅調な推移等緩やかな回復基調を辿りました。一方で、不安定な国際情勢や、円安による原材料価格・エネルギー価格の上昇など、依然として先行き不安定な状況が続いています。

当業界におきましては、橋梁事業、鉄構事業ともに低調に推移した前々事業年度以降、需要に回復が見られず、当事業年度も厳しい受注環境が継続しています。特に新設鋼橋の発注量は前事業年度から更に減少しており、受注競争は一段と厳しいものとなりました。鉄構事業では、低調な鉄骨需要の影響で鋼材価格が軟化し、発注単価下げの動きも出始めました。首都圏再開発案件や半導体関連の設備投資など大型案件は数多く計画されていますが、建設コストの高止まり状況の影響で中断・延期の動きもあり、不透明感はぬぐえない状況であります。

このような厳しい状況のもとで当社は、当事業年度も受注の確保を最重要課題として取り組み、限られた経営資源を最大限に活かす営業活動を展開いたしました。橋梁事業では、複数の大規模工事を受注することができ、厳しい受注環境の下で一定の成果を上げることができましたが、鉄構事業では目標案件の受注予定期が年度末となつたことで、受注高を伸ばせず低調な結果となりました。

損益面では、前々事業年度以降の発注量減少の影響により、充分な仕事量を確保出来ず、厳しい決算数値となりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高10,607百万円（前年同四半期比21.2%減）、営業損失492百万円（前年同四半期は営業利益196百万円）、経常損失351百万円（前年同四半期は経常利益333百万円）、四半期純損失573百万円（前年同四半期は四半期純利益316百万円）であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末の総資産は、27,198百万円で前事業年度末比3,931百万円の減少となりました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金の減少であります。負債は、前事業年度末比4,116百万円減少し、6,531百万円となりました。主な要因は短期借入金及び支払手形・工事未払金の減少であります。純資産は利益剰余金の減少とその他有価証券評価差額金の増加により、前事業年度末比184百万円増加し、20,666百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第3四半期の業績の内、営業利益及び経常利益はすでに通期業績予想を下回っておりますが、第4四半期での工場生産量回復による業績改善を見込んでおり、現時点では業績予想の修正を行っておりません。業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

【中期経営計画2024の進捗】

<総括>

「中期経営計画2024」策定において、計画初年度及び2年目（今年度）は新設鋼橋の発注量減少を前提としていましたが、想定以上に発注量が低水準で推移しています。加えて、資材や人件費の高騰等により推定鉄骨需要量は2年連続で400万トン割れし、鉄構事業についても厳しい受注環境となっています。

新設鋼橋の発注量が減少している現状を踏まえ、和歌山工場の生産体制の最適化と人財の再配分に取り組み、成長分野である保全事業や生研トラス事業に人財を再配置いたしました。また、生産性の向上を図るため、「業務プロセス改善委員会」において全社的なAI活用に向けての準備を進めています。

組織体制においては、4月に保全推進室を本格的に当社事業の柱に成長させるために保全本部として再編するとともに、IR室を新設し企業情報の発信や投資家との建設的な対話の促進に努めています。

人的資本施策においては、福利厚生の増進と社員が当社の株主として一層の価値共有を進める目的で、社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入を決定しました。

厳しい経営環境が続き、業績予想を下方修正していますが、第2四半期（中間期）に近畿地方整備局から七間場高架橋（27億円）、九州地方整備局からJVで球磨大橋（当社△16億円）の大型案件、当第3四半期においては大阪府から大阪モノレール鋼軌道桁建設工事（荒本北工区その2）（27億円）を受注しており、来年度以降はこれら大型案件の進捗による橋梁工場の操業度回復から業績への寄与が期待されます。

また、成長分野である保全事業は工場製作物が限定的であり、生研トラスの製作は外注が中心であるため、投下資本に対する収益性の改善が見込まれることから、ROE並びに企業価値向上に努めてまいります。

なお、2025年12月末受注残高は保全事業12.6億円（2025年3月末比△2.8億円）及び生研トラス11.1億円（2025年3月末比+3.2億円）となっていますが、現中期経営計画期間において、両事業合計で50億円以上の受注残高獲得を目指しています。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金預金	2,288,699	3,005,243
受取手形・完成工事未収入金	14,640,444	8,332,544
有価証券	99,426	99,893
未成工事支出金	127,526	65,236
材料貯蔵品	27,584	20,202
未収還付法人税等	145,020	—
その他	181,462	248,604
貸倒引当金	△42,500	△24,400
流动資産合計	17,467,664	11,747,324
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	5,469,229	5,506,983
減価償却累計額	△3,792,855	△3,870,840
建物・構築物（純額）	1,676,374	1,636,143
機械・運搬具	5,319,771	5,393,500
減価償却累計額	△4,541,608	△4,646,111
機械・運搬具（純額）	778,163	747,388
土地	5,299,693	5,299,693
その他	1,019,226	1,058,555
減価償却累計額	△907,346	△916,089
その他（純額）	111,879	142,465
有形固定資産合計	7,866,110	7,825,691
無形固定資産		
ソフトウエア	11,789	19,142
ソフトウエア仮勘定	93,316	390,208
その他	8,578	8,578
無形固定資産合計	113,685	417,929
投資その他の資産		
投資有価証券	4,816,013	6,296,185
従業員に対する長期貸付金	7,055	5,687
前払年金費用	484,085	546,754
その他	439,519	423,317
貸倒引当金	△64,840	△64,840
投資その他の資産合計	5,681,834	7,207,104
固定資産合計	13,661,629	15,450,724
資産合計	31,129,293	27,198,049

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	2,386,491	1,235,463
短期借入金	3,400,000	300,000
未払法人税等	19,011	33,813
未成工事受入金	681,923	250,039
賞与引当金	250,015	95,724
工事損失引当金	158,244	97,386
その他	171,959	263,421
流動負債合計	7,067,646	2,275,848
固定負債		
長期借入金	3,000,000	3,000,000
繰延税金負債	474,320	1,132,138
退職給付引当金	105,496	123,379
固定負債合計	3,579,817	4,255,517
負債合計	10,647,463	6,531,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,178,712	5,178,712
資本剰余金	4,615,016	4,617,868
利益剰余金	9,676,633	8,814,564
自己株式	△920,381	△895,480
株主資本合計	18,549,980	17,715,664
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,931,849	2,951,019
評価・換算差額等合計	1,931,849	2,951,019
純資産合計	20,481,829	20,666,683
負債純資産合計	31,129,293	27,198,049

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
完成工事高	13,469,143	10,607,831
完成工事原価	12,040,528	9,806,191
完成工事総利益	1,428,615	801,639
販売費及び一般管理費	1,232,489	1,294,251
営業利益又は営業損失（△）	196,125	△492,611
営業外収益		
受取利息	7,597	8,930
受取配当金	130,388	142,821
その他	34,906	33,880
営業外収益合計	172,893	185,633
営業外費用		
支払利息	25,811	38,694
その他	9,308	5,727
営業外費用合計	35,119	44,422
経常利益又は経常損失（△）	333,899	△351,401
特別利益		
投資有価証券売却益	121,978	—
補助金収入	31,815	—
特別利益合計	153,793	—
特別損失		
固定資産圧縮損	31,815	—
特別損失合計	31,815	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	455,878	△351,401
法人税、住民税及び事業税	38,501	15,429
法人税等調整額	100,712	206,348
法人税等合計	139,214	221,778
四半期純利益又は四半期純損失（△）	316,663	△573,179

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	橋梁事業	鉄構事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,695,545	3,773,598	13,469,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,695,545	3,773,598	13,469,143
セグメント利益	169,632	26,493	196,125

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	橋梁事業	鉄構事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,844,828	2,763,002	10,607,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	7,844,828	2,763,002	10,607,831
セグメント損失（△）	△453,058	△39,553	△492,611

(注) セグメント損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	224,417千円	253,470千円

3. 補足情報

売上及び受注の状況

売上状況

セグメント別	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
橋 梁	百万円 9,695	% 72.0	百万円 7,844	% 74.0	百万円 13,025	% 70.6
鉄 構	3,773	28.0	2,763	26.0	5,429	29.4
計	13,469	100.0	10,607	100.0	18,455	100.0

受注状況

セグメント別	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
橋 梁	百万円 7,848	% 79.5	百万円 10,212	% 76.6	百万円 11,021	% 77.9
鉄 構	2,029	20.5	3,122	23.4	3,124	22.1
計	9,877	100.0	13,335	100.0	14,146	100.0

受注残高

セグメント別	前第3四半期会計期間 (2024年12月31日)		当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)		前事業年度 (2025年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
橋 梁	百万円 13,943	% 74.7	百万円 16,153	% 78.1	百万円 13,785	% 76.8
鉄 構	4,731	25.3	4,530	21.9	4,171	23.2
計	18,674	100.0	20,684	100.0	17,957	100.0